

# 中海圏域調査特別委員会資料

(平成23年3月10日)

[件 名]

- 1 中海圏域における国内観光の状況 (観光政策課) . . . . 1
- 2 中海圏域における国際観光の状況 (国際観光推進課) . . . . 2
- 3 「中海の水質及び流動会議」の概要について (水・大気環境課) . . . . 3
- 4 平成23年度中海関連事業の計画概要について (河川課) . . . . 4

文化観光局  
生活環境部  
県土整備部

# 中海圏域における国内観光の状況

平成23年3月10日  
観光政策課

## 1 現状

鳥取、島根両県にまたがる中海圏域は多くの観光資源が存在しており、このエリアを一つの観光圏域として捉え、圏域内への誘客を一層強力に図るため、県、市町村、民間団体が連携して一体的な情報発信、体験型観光などのニューツーリズムの推進、観光二次交通の充実などに取り組んでいるところ。

## 2 主要観光施設の入り込み状況(平成22年)

(鳥取県内の主な施設)

(単位：人、%)

	平成22年	平成21年	対前年比
皆生温泉	465,160	429,616	108.3
米子水鳥公園	23,995	19,832	121.0
むきばんだ史跡公園	39,393	24,886	158.3
水木しげるロード	3,724,197	1,574,710	236.5
水木しげる記念館	411,006	252,789	162.6
夢みなとタワー	170,490	135,520	125.8

(島根県内の主な施設)

(単位：人、%)

	平成22年	平成21年	対前年比
松江宍道温泉	170,630	162,384	105.1
玉造温泉	586,853	556,451	105.5
ぐるっと松江堀川めぐり	307,544	327,306	94.0
カラコロ工房	369,083	404,859	91.2
由志園	253,548	227,954	111.2
足立美術館	591,817	431,334	137.2

## 3 中海圏域での観光振興の取組(平成22年度)

### (1) 両県の取組

- ① 山陰文化観光圏整備事業による滞在型観光の取組支援
  - ・ 共同周遊マップの作成、PRノベルティの作成 など
- ② J R西日本と連携した鳥取県・島根県連携による取組
  - ・ 九州新幹線開通に併せた両県の観光PR (9月福岡)、旅行会社への素材説明会 など

### (2) 中海4市及び4市観光協会の取組

- ① 中海市長会
  - ・ 4市を巡る観光バスの運行などの二次交通対策の取組
  - ・ 「ゲゲゲの女房」を活用した情報発信
- ② 中海4市観光協会会議の取組
  - ・ 「ゲゲゲの女房」の放映に併せたゆかりの地マップやタクシープランの造成

## 4 来年度の取組方針

古事記やマンガなどの共通テーマを設定し、山陰ディスティネーションキャンペーン(2012年開催予定)や山陰文化観光圏などに取り組むほか、引き続き官民で連携した情報発信や2次交通の整備など受入れ態勢の充実を図る。

# 中海圏域における国際観光の状況

平成23年3月10日  
国際観光推進課

## 1 現状

米子ソウル国際定期便及び環日本海国際定期貨客船航路（DBSクルーズフェリー）を活用した韓国、ロシアをはじめとする海外からの観光客誘致を進めるとともに、外国人旅行者が快適に観光できる受入環境整備を推進しているところ。

## 2 平成22年度の主な取組実績

島根県とも連携しながら次のような取組を実施

取組事項	内 容
外国人観光客の誘致 ＜連携、単独＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光説明会（韓国4回、ロシア2回）</li> <li>・旅行会社招致（韓国10回、ロシア1回）</li> <li>・旅行ブロッガー招致（韓国3回、ロシア1回）</li> <li>・外国人旅行者の貸切車両代支援（217件、延べ8,172人）</li> </ul>
外国人観光客の受入環境整備 ＜単独＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子鬼太郎空港韓国語案内スタッフの配置</li> <li>・米子鬼太郎空港－米子駅間の空港連絡バス運行支援</li> <li>・観光地・観光施設の外国語案内標示、クレジットカード機器等の整備支援</li> </ul>

＜平成22年4月～平成23年2月の定期航（空）路の外国人利用者＞

区分	米子ソウル国際定期便	環日本海国際定期貨客船航路（境港～東海）
韓国	12,575人（前年比111.9%）	21,658人
ロシア	332人（前年比83.3%）	2,562人
その他		451人
計	12,907人（前年比110.9%）	24,671人

※環日本海国際定期貨客船航路は、平成22年10月より週1便

## 3 平成23年度の取組方針及び主要事業

従来の取組に加えて、米子ソウル国際定期便の10周年を契機とした同路線の更なる利用促進、アジア国際クルーズ船の境港への誘致、外国人旅行者の受入環境整備の充実を図り、国際的な観光地としての存在感と質を高め、「国際リゾート」へのステップアップを目指す。

### 【主要事業】

- ・アジア国際クルーズ船誘致推進事業(新規)・・・アジアの12港と連携した国際クルーズ船誘致
- ・スポーツツーリズム先進モデル事業(新規)・・・スポーツを活用したインバウンド推進（西部）
- ・外国人観光客誘致推進事業(継続)・・・主な変更点：中国等の新規市場開拓を追加
- ・外国人観光客受入向上推進事業(継続)・・・主な変更点：外国人観光客入込動態調査等を追加

## 「中海の水質及び流動会議」の概要について

平成23年3月10日  
水・大気環境課

- 第1回会議の結果を踏まえ、構成員に対し課題抽出、必要な取組・情報データなどの提案について意見照会した。
- 意見照会結果を踏まえ、12月20日に第2回会議を開催し、今後の水質改善策について意見交換。今後の会議の進め方及び「中海の水質に係る経緯と変遷」のとりまとめ作業を進めることを確認した。
- 今後、必要と思われる取組などを提案し、水質改善策に資する。

### 1 「中海の水質及び流動会議」の設置

- 設置日：平成22年9月16日
- 設置目的：中海会議設置要綱第6条の規定に基づき、中海の水質及び流動などの調査・分析を行うとともに、水質改善策の評価・検討を行う。
- 構成員：国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所  
農林水産省中国四国農政局  
環境省中国四国地方環境事務所  
鳥取県及び島根県の環境、企画、農林水産、河川所管部局  
米子市、境港市、松江市、安来市及び東出雲町の中海環境関係所管課

### 2 第2回会議の概要

- 日時 平成22年12月20日 午後2時～午後4時
- 場所 西部総合事務所講堂
- 協議事項
  - ・今後の水質改善策などについて（意見照会結果に対する意見交換）
  - ・当会議の進め方について
  - ・具体的な実施内容について（「中海の水質に係る経緯と変遷」とりまとめ、海藻除去と有効活用について等）
  - ・その他、平成23年度の各機関事業予定、中海・宍道湖のアオコ発生状況等
- 結果
  - ・今後の水質改善策などについて、普及啓発に関するものが多数挙げられた。
  - ・水質流動会議の進め方については、水質調査結果、特異現象等の分析整理を行うとともに、調査・分析結果から必要と考えられるものを検討・協議し、次期第6期計画へ反映、又は速やかに着手することを確認した。
  - ・関係者の情報共有を促進するための「中海の水質に係る経緯と変遷」について、次回中海会議に初版提示できるよう作業を進めることを確認した。

### 3 今後の予定

- 「中海の水質に係る経緯と変遷」について事務局が原案を作成し、3月23日開催予定の中海会議幹事会に報告予定。



## 平成23年度中海関連事業の計画概要について

平成23年3月10日  
河 川 課

国土交通省中国地方整備局より、平成23年度直轄事業の事業計画が示されました。

このうち、鳥取県側の中海関連事業については以下のとおりです。

- 1 斐伊川水系河川改修費（中海湖岸堤ほか）  
事業費見込み：0.8～3.3億円（平成22年度当初は2.2億円）  
事業内容：渡漁港地区 掘削、護岸（平成26年度完成予定）  
空港南地区 築堤、護岸（平成28年度以降完成予定）  
湖岸堤関連詳細設計 等
- 2 斐伊川水系環境整備事業費（中海浄化）  
事業費見込み：0.9～1.4億円（平成22年度当初は1.7億円）  
事業内容：大崎地区 浅場造成、モニタリング調査  
（平成28年度以降完成予定）

《参考図》国土交通省（出雲河川事務所情報）を基に県で作成

